

125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	番号	句	住所・氏名						
歳れの日照りに溶ける水菓子	涼しさや通ひ慣れたる欄の上	北斎の籠は飛び立つ山清水	一花佳し方花なほ佳し姫芭蕉	夏風を切つて自転車若き僧	一本杉命の大き見た真夏	大いなる音たて西瓜食むことよ	登道聞こゆ犬の戸開くたび	夏露風抜けるほど窓みがく	花日傘骨に窓文はさみゆく	脱げ殻は仏の顔や鬼やんま	梅雨晴にみなで困むや新紙幣	タクシーの窓理めつくす花見客	夏涼し心のやすむ故郷よ	祖母ときて故郷で吊る蚊帳なり	大学の茂りへ帰る鴨の子	近江の人近江の歴史散散り	紫と緑の光涼風や	マイナス5度山より水のすべり台	石山にあの式部がいたのかな	なつのいろあじさいばたきれいだね	はるのいろきれいなはなでめでてるね	せたがわとむかしのせかいいいコンビ	きれいだねむらさきしきぶせたがわと	たのしいねいしやまでらにまたこよう			横浜市南区永田南 谷元 博樹	大津市松本二 松田 翔	栗東市中沢二 葛城 廉	東京都世田谷区 豊田 治美	横浜市港北区 中村 隆	京都市北区上賀茂 宮田 こゆ	
150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	番号	句	住所・氏名						
御手洗の干上がり夏の電の錆	石山の木陰に涼む川の音	晴れの七夕石山で願うは幸せ未永く	バラ飾り部屋に明るさもどりけり	京の和紙張り子のとらや木芽風	泉底に映る水馬田げた履く	ナイアガラ風景全て大瀑布	文化財自慢話や新米の香	降る雨や黒点増えるパンの黴	石楠花や屋根の岩かけ雨の中	雨露を載せてひとゆれ照り若葉	鳥籠釣りや墨絵のごとくシャツ染まる	波音や星降る夕べ缶ビール	グラジオラス頭を垂れる花の数	股担ぎ雨の木遣うや鱸牛	宇治橋も暮れて輪匠を待つばかり	句の香味にも優る嫁の機織	走り蕎麦切るや早くも盛りられけり	シャーパーット宇治の道筋運り来て	夏化粧パンフス似合う交差点	桜餅その香りたる目にうるこ	カワセミの飛び込みまさに芸術会	新酒酌み酔ひしにあらん愉快かり	白に白程よく夏越納めけり	花散れ住職講話居眠りて			高槻市高塚町 四方 よね子	豊田市日南町 澤田 ことり	豊田市日南 岩瀬 大起	栗東市中沢二 葛城 廉	大津市稲津三 加集 正尊	宇治市小倉町 伊豆 益一	